

ふき た さ と 吹田の郷

◆発行/すいた市民環境会議 ◆代表/小田忠文 ◆事務局/☎ 564-0032 吹田市内本町2-18-8 ☎・FAX 06-319-0630小田 (午後6時以降)
◆年会費/1000円 ◆振り込み先/00980-3-28845 すいた市民環境会議

《すいたの古木・大木》の本ができました

この本は、「すいた市民環境会議」「吹田自然観察会」「吹田の市民」が参加し、『みんなで作り上げた』ものです。是非お手元に1冊いかがですか。

夏月 日 発行 日

1998年(平成10年)6月6日 土曜日

緑の財産「大木」11本リストアップ

吹田市内で幹回りが二層以上ある大木の分布調査をしていた市民グループ「すいた市民環境会議」(小田忠文会長)は、七カ月間で四百二十本の樹木を見つけた。このほど調査結果を「すいたの古木・大木マップ」と冊子にまとめた。最も背の高い木は、吹田市藤も背の高い木は、吹田市藤白台五丁目の千里北公園にあるポプラで三十三・六メートルだった。環境会議は、大木をたどりながら散策するコースを冊子に盛り込み、「身近な自然環境を見つめ直すきっかけになれば」と話している。



吹田市内の大木を網羅した「すいたの古木・大木マップ」と冊子

すいた市民環境会議 散策道つきマップ製作

昨年三月に発足した環境会議は、自然が少なくなる吹田市で緑の財産を記録しようと、「吹田自然観察会」(浅田都司男会長)と共に八月に大木調査を始めた。根本から一・三メートルで幹回りが二層以上の樹木を対象にした。その結果、クスノキが四十七本と全体の三五%を占め最も多かった。サクラ(四十一本)、アベマキ(四十本)、エノキ(三十四本)、ポプラ(十九本)と続き、全部で三十八種類あった。樹高ベスト3はポプラが占め、いずれも三十メートルを超えていた。大木の約一割に当たる四十七本が、千里山東三丁目の関西大学キャンパスに集中していることも分かった。幹回りが二層を超える最大のクスノキが関大の簡文館前であった。冊子には、全樹木の所在地や高さ、幹回りなどを記録し、「北千里みち」「江坂みち」など、大木を見ながら二、三時間で歩ける散策コースも紹介している。策コースも紹介している。A5判、八十六で千五百部を発行。一部五百部。樹木分布を色分けして載せたマップは、A3判で三千部発行。

『冊子とマップ』1セットで 500円+送料240円= 740円
『冊子とマップ』2セットは1000円+送料390円=1390円

『マップ』のみは1枚100円です。3枚まで送料140円
それ以上の方は別途ご連絡下さい。

郵便振替でお送り下さい。通信欄に希望部数、電話(&FAX)番号記入して下さい。届きだい発送します。

加入者名：すいた市民環境会議 口座番号：00980-3-28845

すいた市民環境会議が発足して1年が過ぎました。

昨年の設立集会で活動方針として挙げた三点で見ますと次のようになります。

①『自主的に活動し、ネットワークを広げる』では

会員の皆様からの情報をもとに、吹田市内の古木・大木を調査し、幹回り2メートル以上の大木を420本記録、冊子を発刊したことがビッグなイベントでした。また市内のウォッチング、琵琶湖博物館見学などを行い、幹事会では環境アセスメントやNPO法案について勉強会をしました。

②『施策の計画段階で行政と話し合い、環境行政の一角に参画』では

吹田市環境審議会、緑化誘導マニュアル委員会、吹田市都市景観デザイン委員会にすいた市民環境会議から幹事を推薦し、審議に参画しています。

また、今日のありきたりの公園ではなく、人間以外の生き物とともに楽しめる公園を作る計画にも提言、提案してきました。今後の活動の基本的なスタイルが出来つつあると思います。

③『開かれた幹事会』は、毎月 第三 土曜日午後、市民会館で行っています。

会員の皆様、御遠慮なく参加して下さい。発言も自由です。

◇ 反省点として会員が参加する行事が少なく「すいた市民環境会議は何をやっているの」との思いをされた会員の方々もおいでのことでしょう。

◆ 『98年度の活動計画』では会員の他、市民も参加できる行事を考えていますので是非ご参加お願いします。

古木大木の冊子にある『散策みち』を歩いて自分の住んでいる吹田を知り、愛して下さい。「自分のまち」に誇りを持ち、「自分のまち」で安らぎ、うるおう、そんな吹田市にするために「すいた市民環境会議」ができたのです。

現状を知ることから始めましょう。そして市民一人ではできないことを行政や事業者と話し合い、理解し合い、次の世代の人たちが誇れる吹田にしたいものです。

5月31日の第二回総会で新幹事が承認され、その後の幹事会で役員が昨年度と同じメンバーに決まりました。また一年間よろしくご協力をお願いいたします。



《 第二回総会報告 》

- ◆ 1998年 5月31日(日) 午後 2時～ 4時 市民会館大集会室
- ◆ 総会成立
会員総数 131人／出席会員 46人／委任状 26通／合計72人 会員以外の出席 2人
- ◆ 10人の来賓の方が出席して下さいました。(敬称略)
衆議院議員＝藤村 修
大阪府会議員＝阿部誠行・阪口善雄
吹田市会議員＝福家隆之(議長)・生野秀昭・寺尾恵子・西川巖穂・藤木裕輔・吉田勝
吹田市生活環境部＝成田靖穂

◇総会の模様は、吹田ケーブルテレビが取材し、6月5日から一週間放映されました。

- ◆以下二件が承認されました

新幹事 (27名)

秋山こずえ／熱田 克子／浅田都司男／池上 慶子／石田富佐吉／石原みずき／上口 勝
小田 忠文／小田 信子／加藤 恵子／加藤 俊二／喜田久美子／草野 弘靖／小室 巧
佐藤 和子／菅原 節子／高畠耕一郎／土志田新八／中村小夜子／西尾 熱子／橋本徹也
平 軍二／松岡 要三／水川 晶子／三輪 信哉／山田 國広／吉村 哲彦

規約改正

第三条 [会員] 本会の構成員は、前条の目的に賛同し原則として吹田市民あるいは、
吹田市内に勤務する個人および吹田市内の法人とする。

ただし、決議事項に関しては一法人につき一票とする。

第五条 [運営費用] 本会の運営と活動は会費と寄付により行う。

会員は年会費を納入しなければならない。

年会費は 個人1000円 法人10000円

◇総会終了後の懇親会には53人が出席し意見交換をしました。



吹田の生き物調査

吹田市内の自然が急速に減少していることは、日々、吹田で生活をしている私たちの気がかりなことのひとつです。

そんなあれこれを考えるきっかけになることを期待しつつ、今年の「古木・大木調査」をおこないました。散策コースで皆さんと歩く計画がありますが、木を見るだけでなく「みどり」の量、質、住民の対応、そして景観としての「まちなみ」を考えながら歩きたいものです。

今年度はホタル・ツバメ・ため池を計画しました。

昨年度、吹田市は環境基本条例を制定しましたが、どんな生き物がどのように吹田に存在しているのか、データがありません。このままでは自然の保全どころか、吹田市には、どんな生き物がいたかの記録もないまま絶滅していきます。すいた市民環境会議は保全するだけでなく、回復させてみたいものだと思っています。万博公園では昆虫類が戻っているそうです。皆さん、あきらめずに行動しましょう。

ホタル 今年度の調査は終了、ホタルは毎年継続する予定です。詳細は6頁
ツバメの巣 ツバメは現在進行中です。ご協力下さい。詳細は7頁
ため池の生き物 ため池の生き物調査を8月～9月予定しています。

ため池の生き物調査隊員募集

一緒に調査に参加しませんか。

期間 8月～9月（うち数回でも可能です）

参加資格 すいた市民環境会議の会員で次の条件に合う人

- ・7月26日(日)か8月1日(土)の学習会に必ず参加できること
- ・植物や昆虫、鳥、魚の好きな人
- ・高校生以上

☆申込は電話で事務局の小田信子まで TEL&FAX 06-319-0630

ため池学習会

- ・7月26日(日) 13:00～17:00 吹田市民会館 持ち物(軍手・長靴・タオル)
- ・8月1日(土) 13:00～17:00 吹田市民会館 持ち物(軍手・長靴・タオル)



ため池のおたのしみ調査

みんなで楽しくため池の調査をしましょう

9月6日(日)予定・詳細は希望者に後日連絡(中学生以上)

申込締め切り 8月10日

☆申込はハガキで事務局まで ☎564-0032 吹田市内本町2丁目18-8



《ワークショップに参加して》

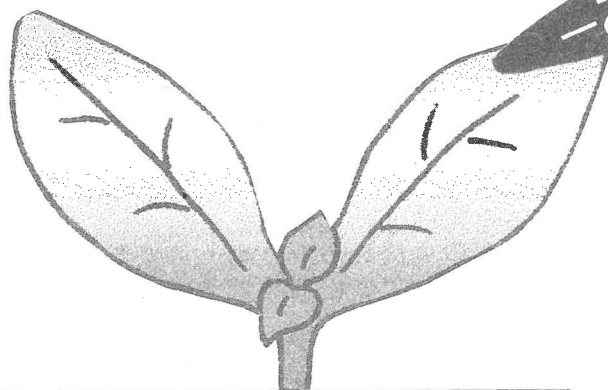
たくさんの素敵な隣人に出会えたワークショップ。吹田の環境を良くしたいという思いが
ピンピン伝わってきました。人には空気と同じように緑や歴史が必要。そしてそれを創り
出すのが素敵なコミュニティーなんですね。

山口 克也



すいた環境教育フェア '98

—みつめよう地球、ふみだそう私—



当日は雨の恵みを受ける天候になりました。
環境に関心のある小学生、中学生、親子づ
れなど、市民が興味をもって参加しているよ
うでした。男性の参加者も多く、“廃油から
石けんを作るコーナー”では9才の男の子が
「ぼく環境に悪いこと今日からせーへんでー」
と言ってくれたその顔が印象的でした。

菅原 節子



《事業者むけ講座》

企業前のバス停の改修工事を例にとり
企業「何かお役に立つことはありません
か」

住民「バス停前なので軒先をかして下
さい」

というわけで、住民は雨や夏の太陽か
らも守られた。

企業は本業で社会貢献するのみでなく、
地域に貢献することを企業市民といい
これからは、大切な事だそうです。

熱田 克子



すいた市民環境会議は、実行委員として参画

ヒメボタルの調査、2カ所で約1か月おこなう

== 最高620匹も、一晩で確認(高町池海老池遊歩道) ==

報告：高畠 耕一郎 980710

吹田市にもヒメボタルが出ていると一部の人は知っていましたが、きちんとした調査は、吹田市にもありませんでした。

ヒメボタルは陸生のホタルで、よく知られているヘイケボタルやゲンジボタルと違って、幼虫時代も成虫になってからも水辺とは全く関係なしに生息している種類です。光かたも違い、フラッシュをたいように1秒間に2回ほどパツパと光を放ちます。大きさはヘイケボタルより少し小さくて、飛ぶのはオスだけでメスは羽根が退化して飛ぶことができません。

吹田市では、市の環境調査で市民情報としてヒメボタルの生息が4～5カ所報告されていますが、詳しいことは何もわかっていませんでした。

今回、すいた市民環境会議と吹田自然観察会のメンバーと地区の公民館や地域のマンション住民と協力して、吹田の2地域で約1か月にわたり発生状況を正確に調査しました。

1カ所は、西山田地区と高野台地区の境にある千里山田周辺緑地内の高町池～海老池遊歩道付近で、距離にして約3 km。このルートは谷間になっていて、高野台のニュータウン側は竹林の緑の急な斜面、反対側は小中学校のグラウンドと公園になっている場所です。夜は、ほとんど人口の光が入らないので、そのことがヒメボタルにとっては好都合の場所になっているようです。

この地域の西山田地区公民館で活躍されている自然教室のメンバーらと調査隊を発足し、ヒメボタルの学習会を豊中市のヒメボタルを守る会顧問の川副昭人先生(関西学院生物学教室理学博士)をお呼びして開催しました。

もう一カ所は、千里山高塚地区で周辺にマンションや住宅が建ち並びヒメボタルが出現する場所だけが竹林として残っているところです。しかし、そこは民有地であるため、来年にはマンションが建設される予定で、ヒメボタルの生息地が危機にさらされています。この地域の調査は、地元のマンションの住民の方が中心になって調査隊を組織され行われました。

ヒメボタルの調査方法は、ルートセンサス法といわれるもので決められたコースにそって、毎日歩きながら、光っているヒメボタルの数を複数の人で確認していくものです。毎夜8時にスタートして10時くらいまでかかりました。

調査してわかったことは、高町池遊歩道の方はかなり広い範囲で数多くのヒメボタルが出現していることです。この緑地帯は市が管理しているので、開発などの大きな変化はないものと思われる。

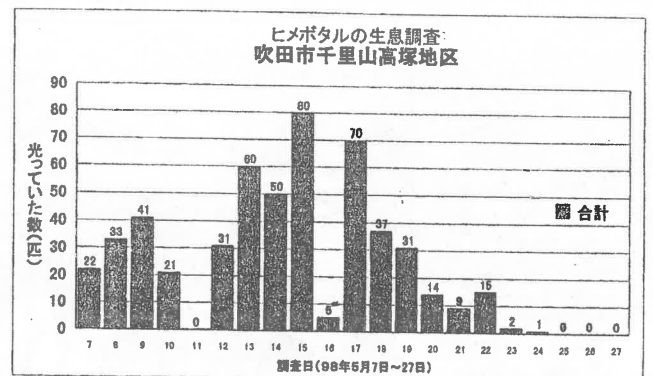
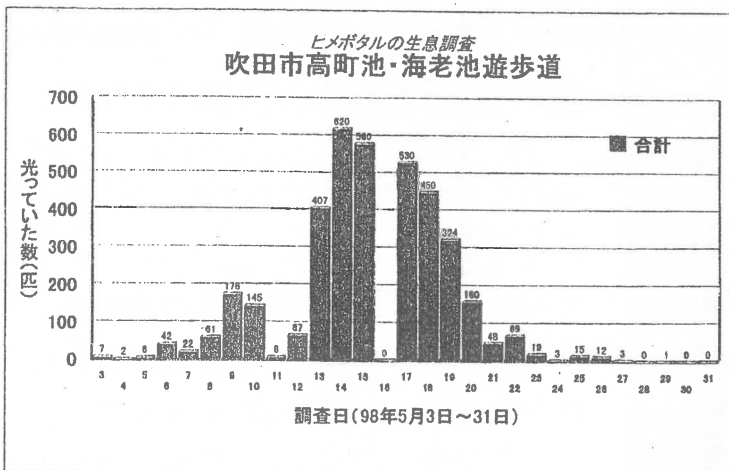
また、高塚地区も数は少ないですが、まんべんなく出現しています。

今回の調査は、多いときには子どもも含めて60名、1日平均で16名の方が毎夜参加されました。また、調査備品の購入資金や保険代をライオンズクラブから援助いただきました。本当に多くの人に支援されての調査になりました。改めて感謝の意を表します。

<表1>

場 所	初認日		最 高		最終日	
高町池・海老池遊歩道	5/3	7匹	5/14	620匹	5/29	1匹
千里山高塚地区	5/7	22匹	5/15	80匹	5/24	1匹

<表2>



吹田市の「ツバメの巣」調査

吹田市内で「ツバメの巣」調査を開始しました。

吹田市には昔のようにツバメの好きな水田がほとんどなく、農家の玄関や軒先に「巣」を作ることも少なくなり、人間と同様マンション族が多くなっている。

また最近のツバメは、ヒナや卵がカラスに襲われることを防止するため、人の目が多い場所に「巣」を作るようになってきている。1ヶ所見つかると、その周辺に集まっていることが少なくない。

吹田市のツバメが好きな場所（探す場所のポイント）

- ・一戸建住宅-----駐車場／門
- ・一般の商店-----日除けテントの内側／軒下の蛍光灯
- ・マンション-----階の駐車場
- ・ニュータウン-----近隣センター／駅などの商店

7月中旬になるとツバメの子育てはほとんど終了しているので、ツバメの「巣」を見つけることは難しくなるが、調査は

①上記の調査ポイントを中心に探す。

②「巣」が見つかったら、家の人に「今年ツバメが巣を使ったか」たずねる。

③更に、近くにツバメの「巣」がないか教えていただく。

コシアカツバメに関する情報が少ないので、どんなことでも連絡をください。

暑い日が続くので大変ですが、8月中旬に調査を終え集約したいと思います。ご協力ください。

ツバメのカレンダー

98.7.1. 6H.

4月		ツバメ 来る (3月下旬~4月上旬)
5月		巣作り (年1~2回)
		産卵 抱卵 約2週間
6月		子育ての世話 約3週間
		巣立ち 1回 6月初 2回 7月初
8月		夜、ヨシ原に集り 集田で眠る。 (8~9月)
9月		南へ帰る (9月~10月)

《 吹田市の鳥 no. 4 》

梅雨の晴れ間、青々とした水田の上でスイーと宙返りするツバメ。田畑の害虫を退治し田畑の守り神・益鳥として昔から家族の一員のように大切にしてきた鳥がツバメである。

吹田市内で繁殖しているツバメは2種、大部分はツバメであるが、マンションの階段踊り場や高速道路の橋桁には、腰が赤いコシアカツバメがトックリ型の「巣」を作っている。

平 軍二 ☎ 06-877-0648

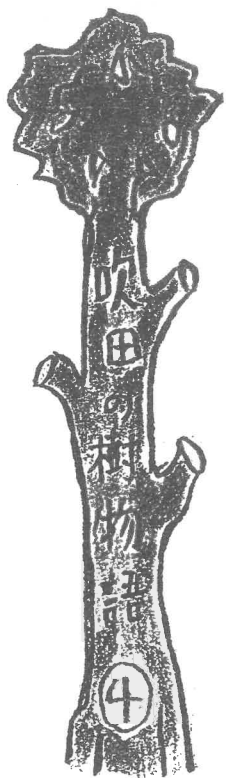
《 高町池のアカメヤナギ 》

柳といえば一般に垂れ下がった枝葉を連想しがちですが枝垂れ柳はヤナギのうち的一部分。お盆映画でおなじみの「うらめしやー」と出沒するのは川端柳あたり……アカメヤナギは本州以西・朝鮮・中国中部の暖帯に分布。日当たりのよい山野の湖沼、川岸などに生える落葉高木。葉は4～7cmで初めのうちは毛があり紅褐色。

花は春、葉がのびてから穂状に咲き雌雄異株、ヤナギはすべて虫媒花。

高野台3丁目にあるこの緑地内の湿地には3本のアカメヤナギの大木(古木)があり、ゴム長なしでは歩行は困難ですが吹田に残された貴重な原風景の一つに思えます。

◆樹高 16.0m
◆幹回り 3.8m



浅田 都司男 (吹田自然観察会)

《シリーズ環境への取り組み・こだわり》

吹田野鳥の会

本会は「日本野鳥の会—大阪支部」によって行われてきた万博公園探鳥会の世話人が中心となって、本年4月に発足したものです。近頃、吹田市や万博協会などから種々の行事協力依頼が多く、地域に密着した活動をするには、それなりに小さな組織が必要になったからです。

6月末の会員数は65名。本年度中に探鳥会や調査会など12回の行事を計画しています。また11月には万博公園内で「写真展—万博公園の野鳥」を開きます。

野鳥の会はもともと野鳥の声を聞き、姿を見るだけでご満悦な愛鳥家の集まりです。ですから、写真に凝って、平気で鳥に迷惑をかける写真屋とは一線を画し、環境保全を唱えても、それは野鳥のためであって人間を考へての事ではありません。今後そのような態度を見せることがあると思いますが、よろしくお願い致します。

加藤俊二




大木と吹田の散策みち


吹田村みち

◆日時／6月27日(土)10:00～13:30◆集合場所／JR吹田駅中央改札出口◆参加人数／21人

吹田村みちに参加して

萩原 寛

吹田の市民グループが市内の大木を尋ね歩き一冊の本にまとめられた、ということを知り“佐井寺に住む孫たちと一緒に歩けたらな”と思い、早速と「吹田の古木・大木」2冊を申し込んだ次第です。

私は、生粋の茨木市民ですが、旧制中学時代の5年間（戦争末期の昭和15～20年頃）千里山まで通学した経験があります。

当時は今の千里山駅が終点。そこから学校まで徒歩で30分。新興住宅地をぬけ、峠を越え田んぼや竹藪、果樹園を横に見ながらの毎日でした。

そんな訳で、今回の皆さんたちのご努力は他人事とは思えず、「古木・大木ウォーク第1回吹田村みち」に参加した次第です。

初めは、お寺参りかなとも思いましたが段々オクターブが上がり、コウヤマキの船材を活用した蔵作りに感激“何とまあこれだけ立派な屋敷と大木が残ったものよ！”

次の西尾邸・仙洞御料庄屋屋敷を拝観するに及んで“頭がくらくら”煤煙でうす汚れた屋根瓦しか印象になかった私には、強烈パンチです。

まさに“樹”の文化だ。吹田歴史散歩万歳！ 暑さを忘れての一日でした。



コウヤマキの船材を活用した蔵の前で

一緒に歩きませんか

— 山田みち —

日時／7月25日(土) 9:30～12:00

集合場所／阪急山田駅改札出口

持ち物／水筒

参加費1000円(寺院謝礼・資料・保険)

— 岸部みち —

日時／9月26日(土) 9:30～12:00

集合場所／JR岸辺駅改札出口

持ち物／水筒

参加費500円(資料・保険)

新入会員紹介 (敬称略) 98' 6. 30 現在

平田 賢一	生野 秀昭	梅原千鶴子	佐藤百合子	小西 裕子	石原みずき
池崎 罔	太田 栄子	小出 悦子	坂上 靖子	柴原 恵	西埜 弥生
筆前 祐子	長谷川美津代	平山 節子	池淵佐知子	磯江 幸彦	上野 英三
熊野 節子	熊野三千代	速水 裕子	古沢小百合	山口 克也	足立ちづ子
岸部 寿子	北村 章江	武下 郁子	船瀬 敬子	木下 宏子	松田 遼
中澤 恵子	前屋舗弘之	河面 堯	本地 綏子	清水由紀子	長坂 孟重
西木 勲	伏木 章				

法人会員

玉城 章・豊田産業(株) / 大谷 昌弘・大谷工業(株)

98年度会費納入のお願い

98年度会費(1000円)を未納の方は、8月31日までに郵便局からお振り込みください。

(封筒の宛て名下段に納入済みの年度が記載されています)

8月31日までに、お振り込みのない場合は、会報誌その他のお知らせの送付ができませんので、よろしくお振り込みを、お願い致します。

お知らせ

◎ 『すいたの古木・大木』の報道

吹田ケーブルテレビ/すいたタイムス
朝日新聞/サンケイリビング/産経新聞
OCCN=大阪セントラル・ネット・ワーク

おおさか環境賞

奨励賞

すいた市民環境会議様

貴団体は環境の保全と創造に資するため
自主的かつ積極的な活動に取り組み
豊かな環境づくりに寄与された功績は
他の模範となると認められますので
これを賞します

平成10年6月5日

豊かな環境づくり大阪府民会議会長

大阪府知事 横山ノック



◎ '98大阪環境賞・奨励賞受賞

6月5日ワッハ上方で受賞式
発足一年で受賞した事は、こ
れからの大きな力になります。

◎ 幹事会 / 市民会館にて

8月15日(土) pm1:30~

9月19日(土) pm1:30~

お気軽にご参加ください。